低学年（小学校１・２年生）

2026 年度

手紙の書き方 体験授業

双方向同期型

©JAPAN POST Co., Ltd.
※ぽすくまは日本郵便のキャラクターです。



夏のおたよりの書き方 指導書



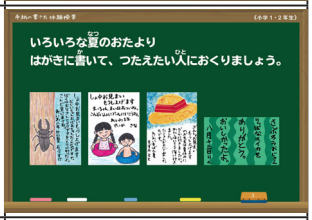
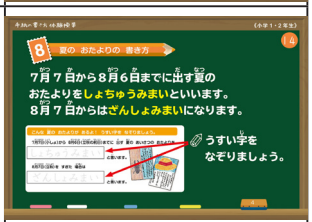
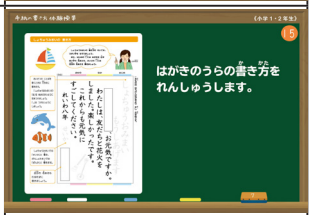
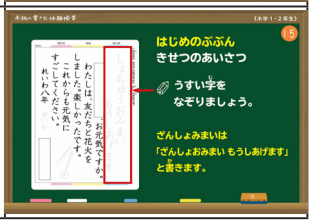


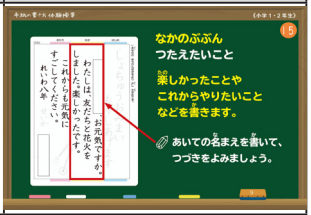
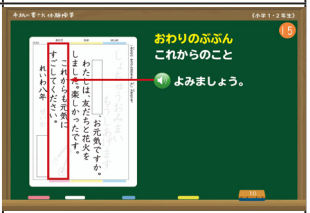
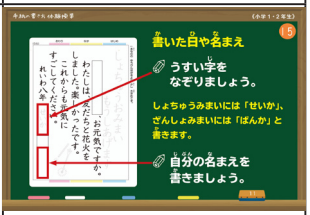
1. 対象学年	低学年（１・２年生）
2. 配当時間	１時間　＊実態に応じて実施する。
3. ねらい	①夏のお便りの書き方について知る。 ②夏のお便りを書く練習をする。 ③実際にはがきに書き、投函する。



手紙の書き方 体験授業

※オレンジ文字は双方向同期型の留意点です。

時間（分）	発問・指示	留意点	画面
0~2	今日はこの「手紙の書き方　小学校１、２年生用」のテキストを使って、学習します。 そして、学習した後に、実際に夏のお便りを書いてみます。 テキスト、はがき、筆記用具を出しましょう。 使うものをたしかめていきます。 同じものを先生に見せてください。	Google Meet や Zoom で児童がミーティングに参加していることを確認する。 テキスト、はがき、筆記用具を確認する。	
2~5	画面の絵を見ましょう。 今年の夏、みなさんは何を楽しみたいですか。 虫とり、プール、おとまりなど… 他にもたくさんありますね。	2、３人指名して確認する。 児童の声が聞こえるか、ミュートになっていないかを確認する。	
5~8	いろいろな夏のお便りが書かれています。 どんなお便りを書きたいですか。 はがきに書いて、伝えたい人に送りましょう。	夏のお便りを見て感想を言わせて、意欲をもたせるとよい。	
8~11	14 ページを開きます。開けたら先生に見せてください。 切手の８「夏のお便りの書き方」 ７月７日から８月６日までに出す夏のあいさつのお便りを「暑中見舞い」といいます。 ８月７日を過ぎた場合は「残暑見舞い」といいます。 うすい字をなぞりましょう。 なぞれたら、先生に見せてください。	開けているか、画面で確認する。 書けているか、画面で確認する。 画面で確認する。	
10~13	他にもいろいろなお便りが書かれていますね。 だれにどんなお便りを送っていますか。 テキストのはがきを読んでみましょう。 QR コードから、ほかのお便りも見ることができます。	児童の声が聞こえるか、ミュートになっていないかを確認する。 QR からの便りは、教師が紹介するとよい。	
13~15	あなたはどの絵をかきたいですか。 〇で囲みましょう。 QR コードから、ほかの絵を見ることができます。	〇で囲んだことを画面で確認する。 どの絵を選んだか、発表させてもよい。 QR の絵は教師が紹介してもよい。	
15~16	15 ページ、しょちゅうみまいの書き方 はがきの裏の書き方を練習します。	開けているか、画面で確認する。	
16~19	はじめの部分は季節のあいさつを書きます。 「しょちゅうおみまいもうしあげます」の うすい字をなぞりましょう。 残暑見舞いは、「ざんしょおみまいもうしあげます」と書きます。	書けているか、画面で確認する。	

時間（分）	発問・指示	留意点	画面
19~24	中の部分は伝えたいこと書きます。 楽しかったことやこれからやりたいことなどを 書きます。 □に相手の名前を書いて、続きを読みましょう。	児童の声が聞こえるか、ミュートになっていないかを確認する。	
24~26	終わりの部分はこれからのことを書きます。 赤い□の中を読みましょう。	児童の声が聞こえるか、ミュートになっていないかを確認する。	
26~29	最後に、書いた日や名前を書きます。 うすい字をなぞりましょう。 暑中見舞いには「せいか」、 残暑見舞いには「ばんか」と書きます。 □の中に自分の名前を書きましょう。	書けているかどうか画面上で確認する。	
29~40	それでは、本物のはがきに夏のお便りを書いてみましょう。 テキストを見ながら書き写してもいいですよ。 空いたところに夏の絵を描くと、素敵なお便りになりますね。 はがきの表の、宛名の書き方は <1 年生 > テキストの６ページ、７ページに出ています。 <2 年生 > テキストの 10 ページ・11 ページに出ています。 書けたらポストに入れてやり取りを楽しみましょう。	書けない児童には、アドバイスし、書き写しの時間をとる。 書けたかどうか画面上で確認する。 授業の感想を交流させる。	

はがきの表面『あて名の書き方』は「手紙の書き方」授業用コンテンツのページにありますのでそちらをご活用ください。